



# だいや川通信

今市の水を守る市民の会

第28号

2009年12月23日(水)

## 水走る街

～「ヨウスイ ミステリー ウォーク」から～



### ■ ミステリー発見

「あっ こんな所から水が吸い込まれていく～」(左写真上)音をたてて足元を下り落ちていく量にもびっくりしながらその行方を追っていくと、今市ICからの国道121号線下を横切って、住宅街の横の水路に顔を出す水(左写真下)。11月8日(日)に行われた「ヨウスイ ミステリー ウォーク」で最初に遭遇したミステリーでした。

市民になって28年、文化会館の駐車場や街中の大型スーパーの出入り口近くの水路は眼にしていたのですが、それがどこから来てどこへ流れていくのか、深く探検したことはありませんでした。福田前代表から教示を受けた大谷川扇状地のこと、数年前に今市を訪れた隅田川市民交流実行委員会の島正之会長(故人)が、「枕元を流れる水の音がとても心地よくて熟睡できた、水が身近にあって市民は幸せですね」と言っておられたことが記憶にあり、また、編集長の手塚さんのお宅近くにも用水があることから、街中を流れる用水の行方をしっかりたどってみたいとかねてから思っていました。秋日にやさしく照らされながらの4時間、参加して下さった14人の方と共に街中を歩いてきた印象を個人的な感想ですが、報告します。

### ■ 5000分の1の地図から

平成6年版の地図から用水路を探ることができました。歩いたコースは、市民活動支援センター①⇒今市小学校脇通路⇒文化会館②⇒121号線横断⇒保健福祉センター③⇒徳性院⇒田川・川窪橋④⇒今市高校⇒二宮堀記念碑⑤⇒JR今市駅前⇒あたま館横⑥⇒〈昼食〉⇒ホテルつたや裏⇒相川理容室前⇒大通り⇒渡邊佐平商店〈酒蔵見学〉⑦⇒春日町⇒滝尾神社⑧⇒支援センター。予定では図書館脇の水路から暗渠になった赤堀川をたどって市役所前に出るはずでしたが、タイムアウト。この大人の遠足にはいろいろな道草がつきもので、キョロキョロ・ウロウロ、時間が足りなくなるのはいつものこと。でも、街の中を流れる用水がこんなにたくさんあるとは、やはり歩いてみて初めて実感できたことでした。想像していたものより濃い時間を過ごせたと思っています(右図)。

滝尾神社境内を流れる水量の多いこと、そしてその冷たさを示す水の色が目には焼きついています。自宅前の用水に山女が上ってくることをとても自慢に語ってくれた人、隠れ釣り人も出没するそうな。水路の横に実っていた豆柿を隅さんを見つけ、参加者で味わったひととき。直径1.5cmほどの実は柔らかく熟していて、懐かしい甘さ、豆柿を見たのも初めてでした。用水路が小さな流れとなって通る空き地の奥では、いつのまにかその堀が消滅していました。ここが街中だとはとても思えません。今高校庭南側の用水路はかなりの深さがあり、流れの方向は



## 目次:

水走る街	1
活動報告	2
福田健彦さんの資料について	3
中島の森	3
中島さんと今市の水	3
川むしたんけん隊報告	4

## お知らせ

次回の定例会

1月24日(日)  
新年会

時間、場所は事務局にお問い合わせください。



想像していたものとは逆だったので驚きました。市営住宅横をくぐる小さな流れは田川に吸収されていくのでしょうか。大通りの横を音をたててゆく水、また別の流れはカマシンの地下を通過して隣の酒屋さんの水路につながっていることなど、私達の目の届かぬところで今もしっかり流れていく水。図書館横で集約されるまで、幾筋もの流れが街中を下っていきます。酒蔵見学では  
 当会顧問の渡邊様にたいへんお世話になりました。

### ■水走る街

今回歩いたのは国道119号線の西側、通称「西裏用水」と呼ばれているものです。今市出身の人には当然のことでも転入者の目でたどると、次のような感想を持ちました。

- ① 街の中には南下してくるいくつもの用水路があること。
- ② その用水は二つの系統。一つは野口方面から下ってくる二宮堀であり、もう一つは昭和27年の水道敷設の際、大谷川の円筒分水で配られてきた水が整備され、防火用水も兼ねた流れとなっていること。

元をたどれば共に大谷川からの取水ですが、勢いよく街の中を流れていく水を目にすると、今市は水が走る街だと思えてくるのです。細かい水路がこれほどたくさん残されている街は全国的にも珍しいのではないのでしょうか。特に滝尾神社から駅間道路までの範囲をさげなく流れている用水路は、市民としてもっと自慢していいと思います。

水あらばこそその生業が息づいている街です。この水をもっと生かす道がどこかに隠されていないかと多くの市民が思っています。当会もいくつかのチャレンジを重ねていきたいものです。次回は2月14日(日)、国道の東側一東裏用水をめぐる(右図)。如来寺境内には昔ながらの石積みの水路が残っています。暮らしの中に位置づけられる用水とはどんなものだろうか、用水との関わり方を街の方達にぜひ聞いてみたいと思います。寒い時期ですが、新しい発見を楽しみにまた一緒に歩きましょう。

今回参加して下さった皆さん、お疲れさまでした。そしてありがとうございました。(塚崎 庸子)

水の会・ゆったりウォーク 2010

## 用水 ヨウスイ ミステリー ウォーク

第 2 回

主催: 今市の水を守る市民の会  
<http://somesing.net/daiyagawa/>

日光市・今市地区市街を流れる用水を巡るウォーキング。  
 東武上今市駅から国道119号線の東側を用水に沿って歩きます。  
 どんな「川」が見つかるか、お楽しみ。3回シリーズで実施予定です。  
 1回目: 二宮堀・東裏用水(昨年11月実施)、3回目: 古大谷川から鬼隠川へ

日時: 2010年2月14日(日) 雨天顺延  
 午前10時 集合・出発 ~ 午後2時 解散  
 集合場所: 杉並木公園駐車場(東武上今市駅側)  
 参加費: 100円(保険料)  
 ● 昼食は持参してください  
 ● 小中学生は大人同伴をお願いします

## 2009年 活動報告

アカハライモリ  
和音・川むしたんけん隊にて

- 1月11日(日) 新年会と1月定例会
- 1月25日(水) 2月定例会
- 4月5日(水) 4月定例会
- 4月26日(日) 第2回 総会
- 5月11日(月) 5月定例会
- 5月23日(土) NPO法人「なんとなくのにな」主催  
「川むしたんけん隊」に協力
- 6月10日(水) だいや川通信 第27号 発行
- 6月24日(水) 6月定例会
- 7月25日(土) NPO法人「和音」主催  
「川むしたんけん隊」に協力
- 8月26日(水) 8月定例会
- 9月30日(水) 9月定例会
- 10月28日(水) 10月定例会
- 11月8日(日) 「ヨウスイ・ミステリー・ウォーク(第1回)」開催
- 11月25日(水) 11月定例会



## 一 事務局より

11月初めに故福田健彦さん(元代表)のご子息、新(あらた)様よりお電話をいただき、健彦さんの書類等の整理を再度行われた際、わたしたちが探していた年表らしきものを見つけられたとのことでした。早速お邪魔して確認させていただいたところ、福田元代表が集会などで使用されていた年表類でしたので早速引き取らせていただき、事務局で保管しております。これらはいずれも今市での運動の経過を説明するために作成されたもので、重複部分はありますが貴重な資料かと思われます。今後、可能な限り、コンピューターに入力しておければと考えていますが、とりあえず会員の皆様にご報告いたしておきます。(森)

### 「中島の水」

水の会発足時からの仲間だった、中島守さんが十日に病気で亡くなった。奥に彼は活動的で、岩登りや水力発電、その他、俺達の知らない所で随分と活躍していた。彼の夢は、山を手に入れることだった。そこでキノコ作りや炭焼き、農業など、試みたいと言っていたのを思い出す。遺骨を少し、奥様から分けていただいた。彼は不満かも知れないが、雑木と竹の小さな林に散骨した。ひそかに「中島の水」と名付けた。おー！しばらく、いうもこんな調子でやっつきたっけ！残っていた家をくみこし、やりたいた事は山ほどあったらうらやましい、無念な彼が気持ちに流れるばかり、早すぎるよ……



2003年2月15日  
長野県大町市から本会の活動やマイクロ水力発電に興味を持ち、市民グループが今市を訪問しました。訪れた市民グループに発電設備を説明する中島さん(左端)通信・第13号に紹介記事があります。

## 中島守さんと「今市の水」

設立時から本会の活動にご尽力いただき、今年度からは会計監査をお引き受けいただいた中島守さんが本年10月に帰らぬ人となりました。謹んでお悔やみ申し上げます。

中島さんは以前から自然エネルギーについて関心をお持ちでした。豊富な電気技術の知識を生かした自宅近くの水路でのマイクロ水力発電設備稼働の実践、竹炭作りなど、ユニークな活動を行っていました。7年ほど前、旧今市市で「新エネルギー検討委員」の公募がありました。市の募集要項によれば、石油に依存しない、持続可能なエネルギー源について考える集まりということでした。大きな勾配を持った扇状地に広がる地域の特色として、水力の活用が考えられます。誰かに勧められたのか、それとも中島さんと話す中でそういうことになったのか、今はあいまいな記憶しかありません。ともかく、応募書類を提出し、委員をやってみることにしました。

検討会が何度も開かれ、公募委員が協力して報告書を作り上げたことをなつかしく思い出します。中島さんは「新エネルギー(中小水力)利用検討プロジェクト」の会長として、まとめを作られました。その報告書の原稿に、「生まれ育った所は精米製粉をする水車小屋であり、親

はこれを生業としていました。確か昭和30年代までは存在していたと思います」と書き、水力へのこだわりの原点を明かしてくれました。

その後、行政の関心は水素エネルギーや燃料電池に向き、委員会の提案はあまり注目されませんでした。水力の利用には、利水権などの用水管理の難しさ、水路から入り込むゴミの問題などがつきまといまいます。けっして使い勝手のよいエネルギー源とはいえません。粉ひき水車などの水力利用が見捨てられたのはそんな理由からではないかと思えます。しかしそれらの課題を、地形に合わせた工夫や新しい電子技術などを駆使して克服し、水力から電力を取り出して活用するという面白さがあります。じっさいこの地域には、1930～50年頃、多くの人たちが自宅近くの水路でローカル水力発電に取り組み、ユニークな装置を考案していたという歴史があります。「新エネ検討プロジェクト」のまとめを作りながら、今市のあちこちにこれほどのパイオニアがいたのかと、驚きと尊敬の気持ちを感じたものです。

「地域でのマイクロ水力をもういちど見直してみよう」と中島さんは話していました。そんな意志を、これからの本会の活動に生かしていきたいと考えています。(手塚)



## 川むしたんけん隊

5月23日実施(前号に報告済み)の後、7月25日(土)に「NPO 和音」、10月4日(日)に「NPOなんとなくのにわ」のそれぞれの川むしたんけん隊に当会が協力しました。

砥川でみつけた親ガニ子ガニ

「NPO 和音」 猪倉小学校学童保育の子供たちが夏休みの行事として楽しみにしていたのですが、雨天続きで水量が多く、田川に入れませんでした。代わりに秘密の場所で「生き物しらべ」を行ったところ、思いがけない生き物がたくさん見つかりました。それはアカハライモリ。栃木県のレッドデータブックにも記載されている生き物ですが、ずっと前からその場所で世代交代を繰り返していたようです。人間に知られず、ひっそりと生きてきた彼らを見つけてしまったことに少し後ろめたさを感じましたが、子供達にとっては久々の大発見で、保護者も興奮気味。気温25度・水温15度の悪天候を忘れさせてくれる出来事でした。他にはヤンマ科ヤゴ・カワトンボ科ヤゴ、サワガニも見つかりました。

「NPO なんとなくのにわ」 サイエンス・カフェは 砥川の佐下部橋上流で行いました。最初川に入った時は、人間が手を加えていない流れのように感じて、夏になったら泳ぎにきたいと思うほど、景観も水量もすばらしい所でした。でも上流には東京電力今市発電所があるのです。年に何回かダムからの放水があるため、川虫達は体を支えられる大型の生き物がずいぶん目立ちました。サワガニ、ヘビトンボ(2種類)、オオヤマカワゲラなど。これらの生き物は「きれいな水」に棲む指標生物になっており、この地点での砥川はきれいな水域ということがよくわかります。親サワガニが腹に子蟹をたくさん抱えていました。子供達にそれを見せることができたのもこの日の大きな喜びでした。

今市にはまだまだ知られざる場所がたくさん残されており、生き物も多くの種類がいることを今また教えられました。生きること、命あるものとのふれあいをできるだけ多くの子供達に体験させてあげたいものです。会としてこれからもそのお手伝いをしたいと思っています。

一番頭が柔らかい小学校3、4年生がたくさん参加してくれると、もっとにぎやかになりますね。(塚崎 庸子)

### 郵便振替口座

00140-4-535550

### 連絡先

〒321-1102 日光市板橋1732-1 森 方

### 今市の水を守る市民の会

0288-27-2183 (8時~17時:森)

0288-26-3324 (17時~21時:塚崎)

<http://somesing.net/daiyagawa/>



(上) 田川は水量が多く、川に入れず残念

(下) 砥川での川むしたんけん隊



### 編集後記

今年は「環境に配慮した」が合い言葉になり、「エコ」がテレビや新聞のCMにたくさん登場した年でした。自動車を買換えれば大量の廃棄物が出ます。使える物はできるだけ長く使って寿命を全うしてから捨てるのが「エコ」なのかと思えばそう

でもない●「あなたがいま使っている機種はたいへん効率が悪い。新しいものは改良が進み、燃料を食いません。だから新しくした方が「エコ」です」とCMは言います。けれど、その新しい製品も数年すると、さらに改良されたものが作られ、「こっちを使った方がもっと徳ですよ」と言われそう。ひねくれた見方かもしれませんが、今年になって突然、画期的な省エネ技術が開発されたわけでもないし、よく考えてみると変な「エコ」もずいぶんある。「エコ」も適当に付き合っておこうかなと思います●2009年も残りわずか。やっと編集を終えることができました。みなさまのご協力に感謝します。(T)